



新鮮な海の幸をすぐに焼いて食べられる
バーベキューコーナー



普段見ることのできないカキの養殖風景を参加者
の皆さんは興味深げに見学していました



「出張かき小屋」では、40分間食べ放題のカキの
蒸し焼きを心行くまで味わいました

カキまつりに11,000人が来場 旬の味覚をまるごと味わう

旬の味覚カキをまるごと味わう「三陸山田カキまつり」が4月25日、山田魚市場で開かれました。山田町商工会が中心となって組織する山田の魅力発信実行委員会（阿部幸榮会長）が通年事業「三陸山田^{こうえい}旬活、2010」の一環として開催したもので、当日は町内外から訪れた11,000人の行楽客でにぎわいました。会場では、カキおき体験や二本かぎを使い2分間取り放題の「カキ・ホタテすくい」に子供から大人までが次々と挑戦。漁船による養殖いかだの見学会も行われ、産地ならではの体験を楽しみました。また、カキ汁やジャンボ鉄板で作る「カキとシイタケのしょうゆバター炒め」の試食コーナーのほか、販売コーナーで買い求めた海産物をその場で焼いて食べられるバーベキューコーナーも設置され、訪れた人たちはカキの魅力を存分に堪能していました。

山田アサリまつりを開催 4,500人が春の風物詩を満喫

5月2日、織笠川河口で「山田アサリまつり」が開かれました。春の風物詩である潮干狩りをたくさんの人に楽しんでもらおうと町と山田町観光協会（大杉繁雄会長）が開催したものです。第1日目の4月29日が悪天候により中止となったこともあり、絶好の行楽日和に恵まれた当日は町内外から訪れた4,500人の家族連れなどでにぎわいました。くま手やシャベルなどを手にした参加者は、スタートの合図とともに潮の引いた干潟へとまっしぐら。思い思いの場所で大物のアサリを掘り出しては家族そろって歓声を上げるなど、ほほえましい光景が多く見られました。また、会場ではアサリのワイン蒸しやアサリ汁、地元海産物などの販売も行われ、参加した皆さんは浜辺に広がる春を満喫していました。



家族連れて潮干狩りを
楽しむほほえましい光
景が多く見られました
(上写真)／潮の引いた
干潟はたくさんの参加
者で埋め尽くされまし
た





今月の題字

生駒 樹くん
(山田南小3年)

町のわだい

全日本ジュニアレスリング選手権 船越出身の葉澤君が見事優勝

船越出身の葉澤謙君(国士舘大2年)が、4月24日、25日に横浜市で開かれた2010年度全日本ジュニアレスリング選手権大会に出場し、男子ジュニアの部・フリースタイル74kg級で優勝しました。昨年の同大会では、2人を破り準々決勝に進出しましたが惜しくも敗退。その悔しさをバネに厳しい練習を積み重ねたことが実を結び、見事栄冠を手に入れました。葉澤君は「7月に出場する世界ジュニア選手権でも、いい結果が出せるよう頑張りたい」と世界という大舞台に向け決意を新たにしていました。



盛岡の城東中が本町で漁業体験 海に触れ自然の大切さ学ぶ

5月13日と14日、城東中学校(盛岡市)の2年生70人が宿泊研修として初めて本町を訪れました。同校を受け入れたのは、漁業体験の機会を提供しようと町内の漁業者などで組織するマリン・ツーリズム山田(菊地和三会長・会員8人)の皆さん。研修では、カキの殻むき作業のほか、漁船での養殖いかだ見学とオランダ島の散策などの体験が行われ、生徒らは普段の食生活に欠かせない海と漁業の大切さを肌で感じていました。最後に生徒たちは全員で浦の浜海水浴場の清掃を行い、自然に対する感謝の気持ちを新たにしていました。

豊間根地区で田植えの体験学習 泥だらけで作業に取り組む

5月18日、豊間根地区で農業体験学習「どろんこ田植え」が行われました。普段農業に接することの少ない地域の子供たちに農作物を育てる大切さを知ってもらおうと県農業農村指導士の木村良一さん(豊間根・62)の協力により毎年行われているものです。木村さん所有の水田で行われた田植えには豊間根保育園と豊間根小学校の園児児童ら41人が参加。木村さんの指導を受けながら真剣なまなざしで田植え作業に取り組みました。作業後には泥投げ遊びなども行われ、子供たちは全身泥だらけになりながら貴重な体験を楽しんでいました。

